

環境にいいこと

× もしかしてそれが

あなたの好きなこと

～皆さんの気づきからエコを取り入れた理想の未来を
一緒に考えてみませんか？～

1 開催概要

もしかしてそれが
「環境にいいこと × あなたの好きなこと」
～皆さんの気づきからエコを取り入れた
理想の未来を一緒に考えてみませんか？～

○開催日時：令和2年11月30日(月)

13:30～15:30

○開催場所：京都御池創生館 研修室

○参加者：15名

- ・一般参加（環境に興味がある市民など）：11名
- ・京都市職員（市民協働ファシリテーター研修生）：4名



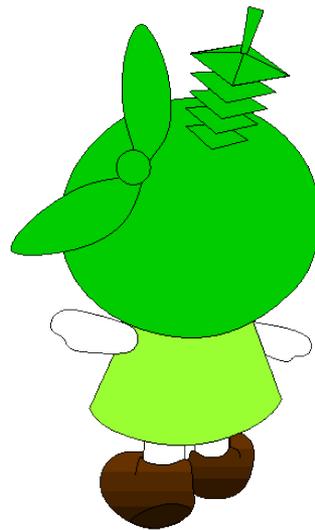
2 ワークショップのねらい

開催背景

○近年、夏の猛暑や猛烈な台風や大雨・・・昔に比べて「ほんま やばいなあ」[↓]と感じることが多い・・・

○この変化と私たちの暮らしに対して、一人ひとりが、「ほんの少しの気づきからアクション」することで、それが連鎖し、広がって、私たちの未来のカタチは変わっていくはず・・・

○なので、多くの方と一緒に未来の暮らしを考え・話し合い
気づきを共有し、「脱炭素社会」の「理想の未来」にしたい！！



2 ワークショップのねらい



本ワークショップにおける問いとゴール

○問い : どのような「自分の好きなこと」(趣味など)をすれば、
エコな暮らしにつながるのか？

それは、どのようなエコなのか？

○ゴール :

- 次期「京都市地球温暖化対策計画」の具体的施策として採用
- 参加いただいた方の「脱炭素社会」実現方法に対する気づき

3 ワークショップの方法

1. 問いの共有

- ・テーマ所管課から問いの共有。
- ・ファシリテーターからワークショップの問いとゴール、進め方、ルールの説明。

2. まずはお隣同士で語りましょう（ストーリーテリング）

- ・「自身の趣味のこと」「自身の趣味をしているときに環境について気になること」というテーマで、2人組で対話。その後、全体で共有。

3. みんなでいろんなアイデアを出し合いましょう（ワールドカフェ）

- ・「CO₂排出を減らすためにまずは自身でできそうなこと、もしくは既に行っていること?」「それを行うと、私たちにどんなメリットがあると思うか?」という2つのテーマで、途中でメンバーを入れ替えながら、4グループで対話。

4. チームづくりをしましょう（マグネットテーブル）

- ・「10年後、私は〇〇しながら〇〇を京都に広げたい?」というテーマについて、各自が紙に自分の考えを記述。その紙を参加者同士で見せ合い、一緒に検討するチームを形成。

5. 新聞記事を作りましょう（クイックプロトタイピング）

- ・「10年後、私は〇〇（趣味など）しながら〇〇（エコをまち）を京都に広げたい」というテーマで新聞記事を作成し、発表。

6. みんなで輪になって想いを共有しましょう（サークル）

- ・今日感じたこと、気づきを共有。



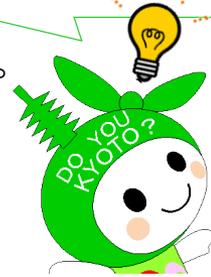
4-1 アウトプットサマリー (ワールドカフェ) A班

問1 自身で行っていること, アイデア (環境にいいこと)



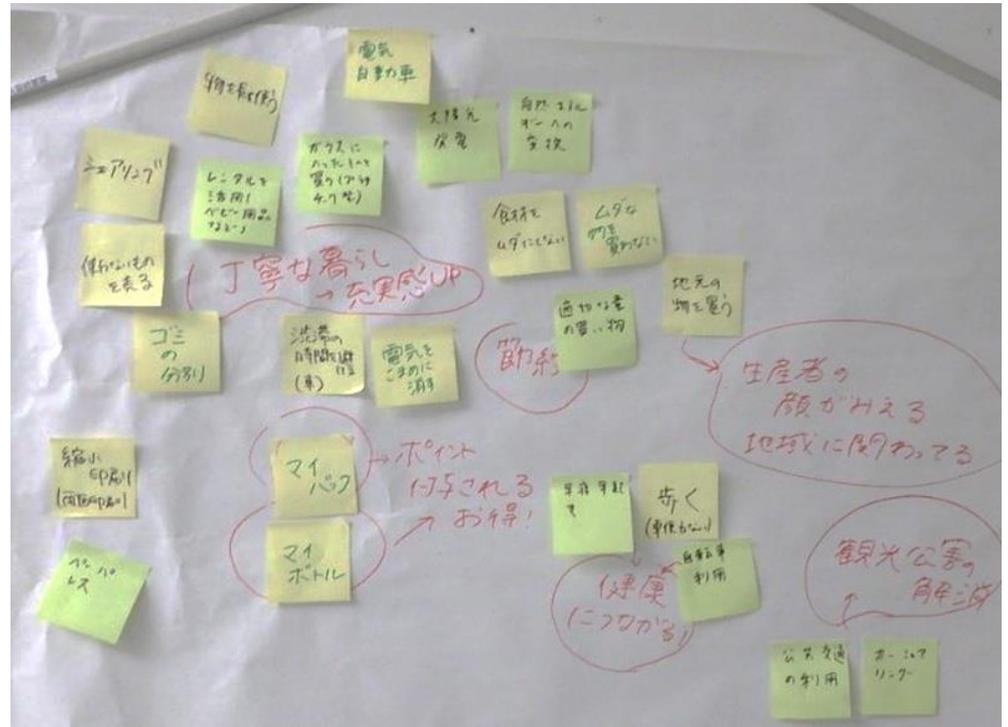
もしかしてそれが!

- ・早寝早起きをする。
- ・物を長く使う。
- ・電気自動車を使う。
- ・太陽光発電の普及。
- ・自然エネルギーへの転換
- ・食材を無駄なく使う。
- ・無駄な物は買わない。
- ・地元の物を買う。
- ・適切な量の買い物。
- ・渋滞の時間を避ける。
- ・電気をこまめに消す。
- ・マイバックを持参。
- ・マイボトルを持参。
- ・歩く!
- ・自転車を利用する。
- ・ごみの分別。
- ・使わない物を売る。
- ・公共交通機関を利用する。
- ・カーシェアリングを利用する。
- ・レンタル商品を活用する。



問2 私たち暮らしへのメリット (あなたの好きなこと)

- ・丁寧な暮らしで充実感UP!
- ・お金の節約!
- ・ポイント付与などのお得感!
- ・生産者の顔が見える (地域との関わり)
- ・健康につながる!
- ・観光公害の解消!

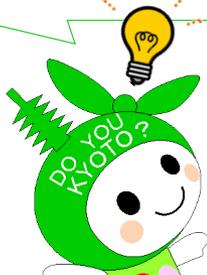


4-1 アウトプットサマリー (ワールドカフェ) B班

問1 自身で行っていること, アイデア (環境にいいこと)

- ・ 買い物は近所で。
- ・ 地元産を扱っているお店へ。
- ・ 公共交通機関を使う。
- ・ レジ袋は使わない。
- ・ 車を使わず歩く！
- ・ エコドライブ！
- ・ 自転車を使う。
- ・ 運動をして温まる！
- ・ 家の冷房を使わず、クールスポットへ。
- ・ 子供を外で遊ばせる。
- ・ 早寝遅起き。
- ・ 歯磨き中は水を出しっぱなしにしない。
- ・ シャワーの時間を短くする。
- ・ お風呂よりシャワー。
- ・ 電気をマメに消す。
- ・ 裏紙を使う。
- ・ 宅配をなるべく1回で済ませる。
- ・ ごみを減らす。
- ・ エコバックを使う。
- ・ レジ袋はもらわない。

もしかしてそれが！



問2 私たち暮らしへのメリット (あなたの好きなこと)

- ・ まちの魅力発見！京都の経済にもプラス！
- ・ 節水や節約！
- ・ 友人が増える！
- ・ 健康につながる！
- ・ 手間（時間）の節約！



4-2 アウトプットサマリー（クイックプロトタイピング）

アイデア

- 京料理×ジビエテーマパークオープン

アイデア概要

- 宿泊施設も兼ねたジビエなどの地産地消の料理等を味わえるテーマパークを開設する
- 京都の木材を使った伝統工芸品づくり体験，森林浴やヨガなどができる
- 養蜂体験や収穫体験，狩猟見学などの自給自足を感じる体験ができる

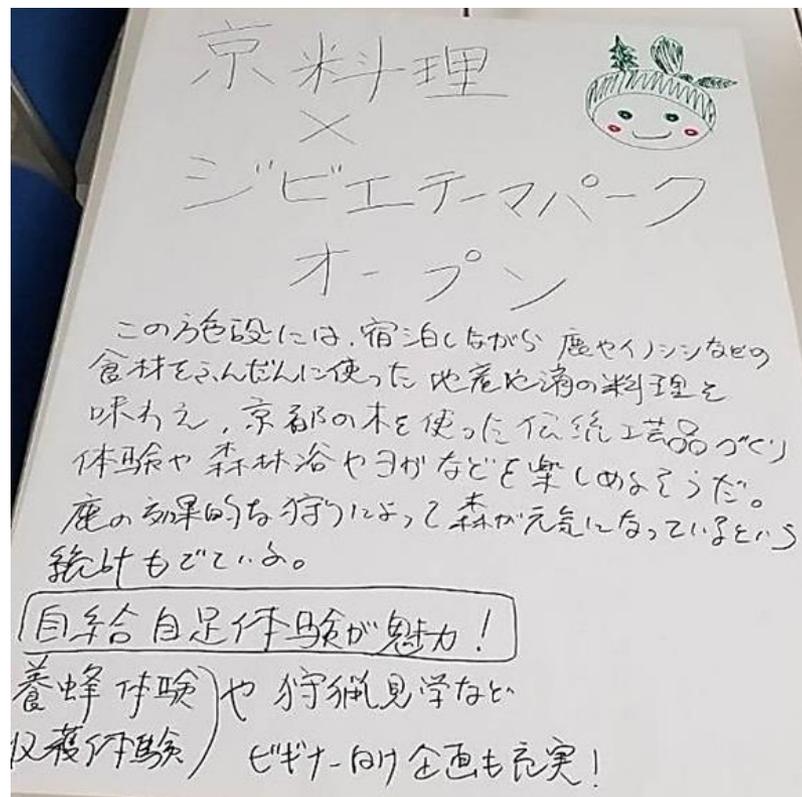
環境への貢献

- 鹿の効果的な狩りによって森が元気になる

副次的効果

- 京都産木材の普及
- 域内循環の促進

ジビエテーマパーク×京料理



4-2 アウトプットサマリー（クイックプロトタイピング）

・ アイデア

- ・ 京都ウォーキングデー

・ アイデア概要

- ・ 毎月16日の「ノーマイカーデー」に「ウォーキングデー」を追加する
- ・ 地元を歩いてみることで、地元の観光名所や隠れた魅力などの再発見につながる
- ・ 運動することで外出するきっかけになり、健康づくりに寄与する

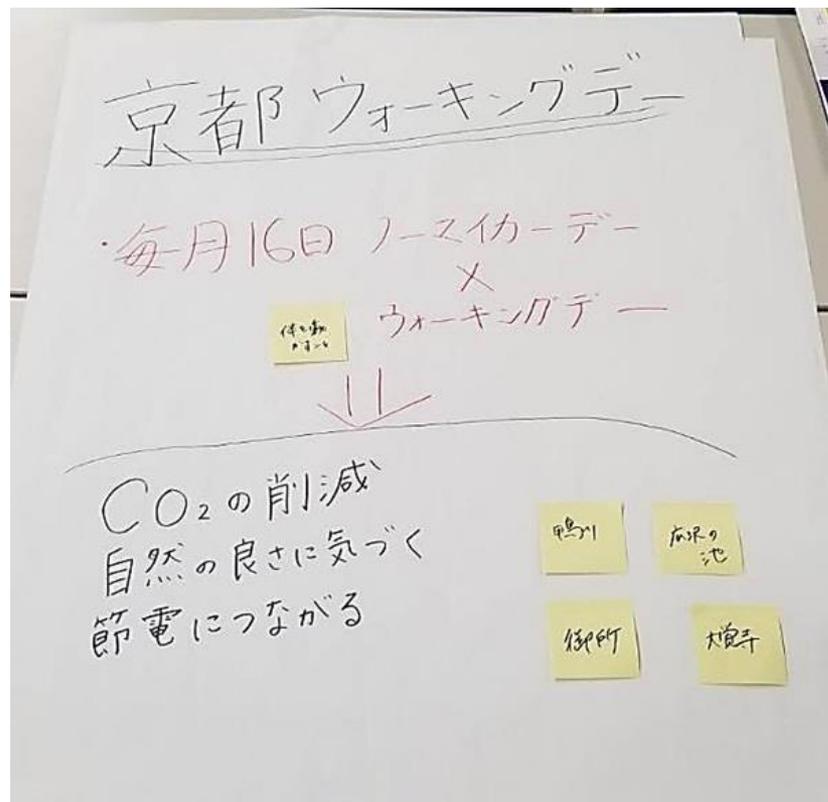
・ 環境への貢献

- ・ 公共交通の利用促進により、車によるCO2削減や節電につながる

・ 副次的効果

- ・ 健康増進
- ・ 観光公害（混雑回避）の解消
- ・ 地域の魅力再発見，地域間交流の促進

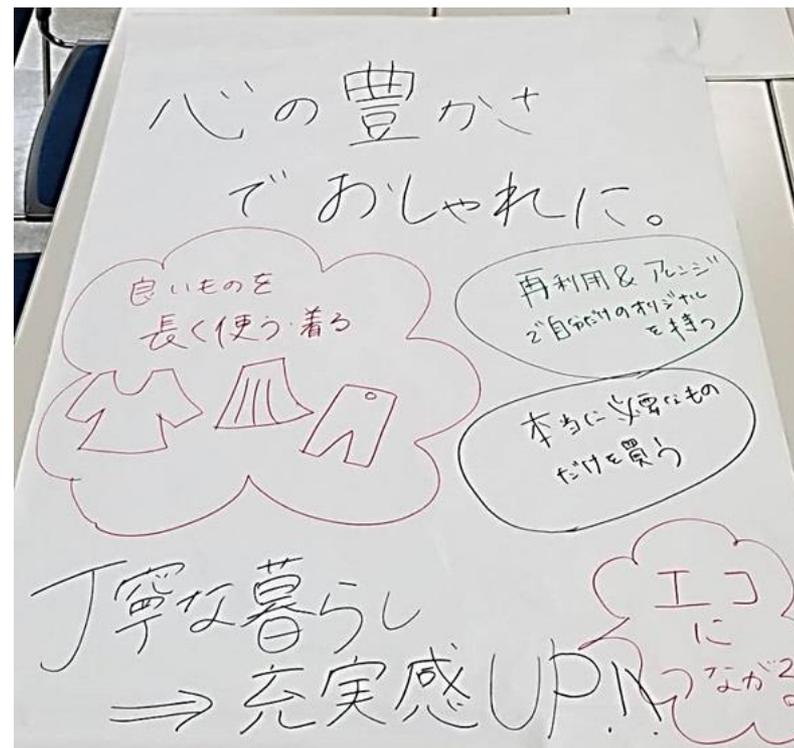
ノーマイカーデー×ウォーキング



4-2 アウトプットサマリー (クイックプロトタイピング)

- **アイデア**
 - 心の豊かさでおしゃれに
- **アイデア概要**
 - リサイクルやリユース, マイボトル, マイバッグの活用
 - 良い物 (服等) を長く使う・着る習慣づくり
 - 本当に必要な物だけを買う目利き力を鍛える
- **環境への貢献**
 - 「丁寧な」暮らしを意識することで, ゴミの減量や無駄なエネルギーの削減
- **副次的効果**
 - エコなライフスタイルへの変化

丁寧な暮らし×おしゃれ



4-2 アウトプットサマリー (クイックプロトタイピング)

アイデア

- 自然エネルギーで地産地消するまち
京都市長が「Re100宣言」

アイデア概要

- 市内全住宅にソーラー配備
- 北山などの森林エネルギーの活用 (暖房効果)
- 府市連携により日本海からの風力エネルギーの活用・購入

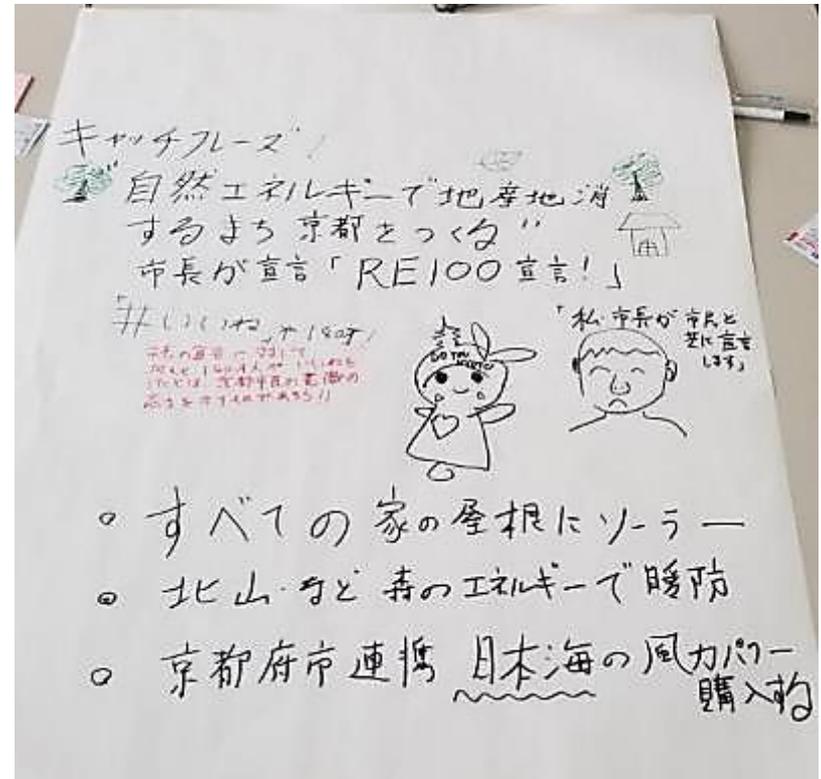
環境への貢献

- エネルギー供給量の制限・管理

副次的効果

- 公共

自然エネルギー×地産地消



6 サークル

参加して、どのような気づきを得たか？

新しい発見

- ・ 世代に応じて環境への取組に変化があるかもしれない。
- ・ シンプルな暮らしがエコにつながっている。
- ・ 繰り返しものを使うことは環境につながる。
- ・ 「食」を通じたエコがあることに気づいた。
- ・ 余裕がないとエコなことは考えられないので、余裕を持つことが大切だと思う。

気持ちの変化

- ・ 好きなことから環境のことを考えるきっかけとなった。
- ・ 身近な人にも伝えていきたい。
- ・ 1997年から、環境に関する取組をしていたが、最近疲れていた。若い世代の話やる気が湧いた。また、継続して取り組んでいきたい。

その他

- ・ 市長が来られたことで、WS（又は環境）に対する本気度がわかった。
- ・ 環境に関する取組も、経済のことや身近な暮らしの視点からだ入りやすい。
- ・ 良いものを繰り返し使う一方で、ファストファッションの業界も継続している点が気になる。



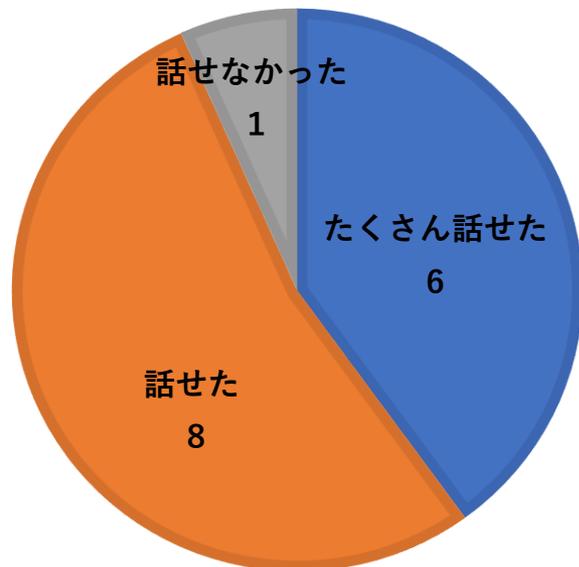
7 アンケート結果

ワークショップの感想

※主なご意見を掲載

Q 1 自分のアイデアや意見を話すことができましたか？

【15名回答】



(たくさん話せた)

- ・お題が「自分の好きなこと」だったので、話やすかったです。
- ・いろんな視点から考えることができました。

(話せた)

- ・自分の日頃の行いや好きなことを意見として話しました。
- ・マグネットテーブルのお題が少々難しく考えるのに時間がかかった。

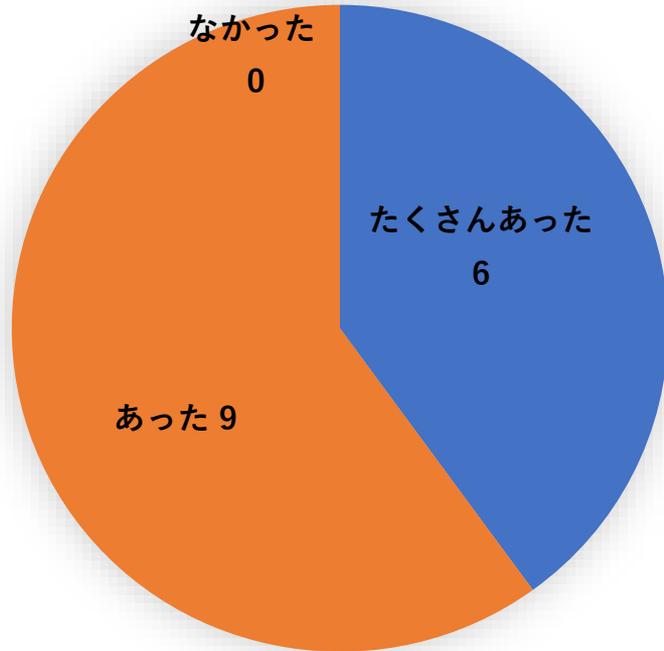
(話せなかった)

- ・専門知識が豊かな方々と一緒のチームになったしますと、発言がしにくくなるので、ファシリテーターの腕の見せ所かなと思いました。(特にクイックプロトは知識のある方の声が大きくなりがち)

7 アンケート結果

Q 2 新しい気づきや発見がありましたか？

【15名回答】



(たくさんあった)

- ・環境問題を考える一歩として、自分自身の好きなことからつなげる事ができ、とても楽しく考えることができました。
- ・価値観の異なる方々と話すことで、自分には思いつかなかった考えの方がたくさんいらっしまったことが印象的でした。

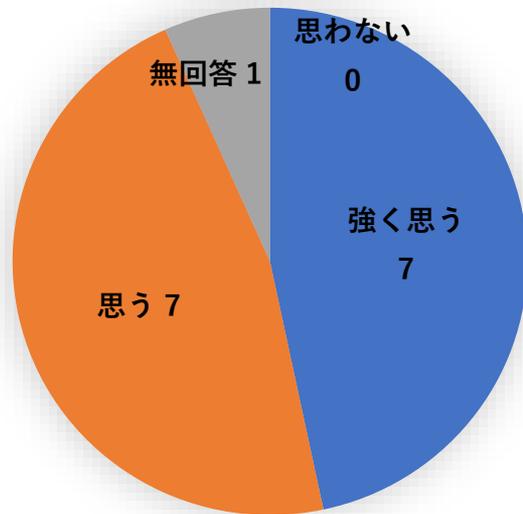
(あった)

- ・世代によって、エコが違う。
- ・最終的に形にすることで、好きなことを続けることがエコにもつながるとわかった。

7 アンケート結果

Q 3 WSの内容に関して今後も継続して関わりたいと思いますか？

【15名回答】



(強く思う)

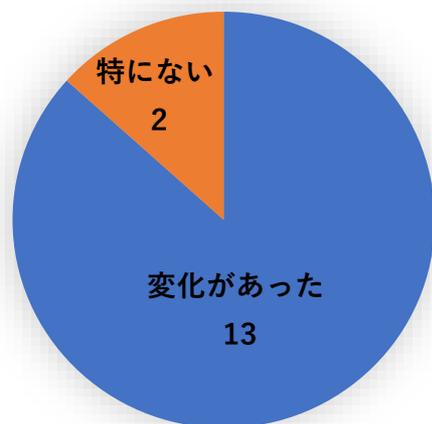
- ・”エコバッグを持ち歩こう”以外に、全国民が簡単にできるエコ活動が広がればいいと思います。
- ・様々な人と話せて楽しかったので、今後も参加したいです。

(思う)

- ・市民参加型のWSを企画から実践までこれからも参加してみたい。
- ・節電，節水を続けながら，おしゃれを追求していきたい！

Q 4 WSに参加する前と後で、意識に変化はありましたか？

【15名回答】



(変化があった)

- ・環境問題に対して、ネガティブな印象がポジティブな印象に変化しました。
- ・エコはそんなに難しくはない。面倒くさくないということがわかった。

7 アンケート結果

Q 5 意見を出しやすい場所や方法について、アイデアがあればご回答ください。【15名回答】

- ・コロナに配慮しつつ、リアルなWSでやってほしい（オンラインは限界があります）。
- ・大学のゼミ，友達と一緒に参加できるイベント
- ・見える化 何をどうすればどう効果があるかわかると取組が進むと思います。
- ・同じ趣味の集まり（考え方や価値観が同じ人が集まれるので）



今後のWS開催の参考にしたいね！